

はじめての



*shopify*

ストア開設ガイド

2022年2月版



## ストア開設ガイド

# 目次

02	はじめに
04	Shopify の通常料金プラン
05	Shopify Plus でワンランク上の EC を目指す
06	Shopify Plus のストア拡張機能
06	導入のご相談と Shopify Plus パートナー
07	サービス・機能比較
08	決済方法
09	お役立ちツール／ドメイン
10	ショッピングインタビュー（SOULfitwear さま）

## 第1章 ストアを作って商品登録をしよう

12	Shopify ストアを開設する
13	管理画面を解説
14	商品を登録する
15	商品編集画面を解説
16	商品にオプションを追加する
17	商品を削除する
18	コレクションを作成する
20	自動コレクションを作成する
21	ページを作成する

## 第2章 テーマを編集しよう

24	メニューを作成する
25	ドロップダウンメニューを作成する
27	テーマを編集する
29	テーマを追加する

## 第3章 ストアの裏側を設定しよう

32	ストアの情報を編集する
34	決済方法を設定する
36	他の決済方法を設定する
37	ストアに送料を設定する
39	商品別送料を設定する
41	日本で人気のアプリを紹介

## 第4章 開店準備をしよう

43	プランを契約する
44	テスト注文を行う
45	注文処理を行う
46	配送情報を変更する
47	注文を返金する
48	注文をキャンセルする
49	パスワードページを削除する

## 第5章 応用編

51	ストアのSEO 対策について
52	販売チャネル(販路)について
53	ディスカウントを作成する
55	ストアにSNS の共有ボタン、アイコンを追加・編集する
56	モバイルアプリについて
57	FAQ（よくある質問）

# はじめに

Shopify (シヨッピファイ) は、国内外問わずにオンライン販売を手軽に始められる、クラウド基盤のマルチチャネルコマースプラットフォームです。

ウェブ、モバイル、ソーシャルメディア、マーケットプレイス、実店舗などの複数の販売チャネルを持つネットショップの作成、カスタマイズ、在庫連携、売上管理などを簡単に行うことができます。Shopify のプラットフォームには、ストアの経営者にとって強力なバックオフィス機能も備えられており、オンライン販売に必要なものすべてを Shopify で一元管理ができる、という手軽さも大きな特徴です。

2004年にカナダで設立されて以来、Shopify は現在、約175ヵ国で展開しており、大手有名企業から世界的な著名人まで海外および日本国内において、多くのブランドより信頼されています。

※ 2021年10月現在



日本には2017年より本格進出を開始し、管理画面やヘルプセンターなどの日本語ローカライズ、様々なサービスや決済方法との連携を進めております。

このガイドでは、Shopify ストアを開設するときに必要な操作方法や基本設定を網羅します。もし、本書だけではわからない点や不明な点がありましたらお気軽に Shopify のサポートチームにご連絡ください。



A large, prominent white logo consisting of a shopping bag icon with a stylized 'S' inside, followed by the word 'shopify' in a lowercase, bold, sans-serif font. The entire logo is set against a solid black background.

# shopify と shopifyplus

Shopify ではビジネスの規模に応じたプランを複数用意しています。Shopify を導入する際は、自社の EC 戦略にマッチしたプランを選ぶことをお勧めします。

Shopify の通常プランには 3 つの料金体系（ベーシック、スタンダード、プレミアム）があります。EC サイトを構築・運営するための基本的な機能はすべて揃っています。本ガイドでは、通常プランでのストア開設をご紹介します。

→ 通常プランをご利用の方は **7 ページ**へ

通常プランでは対応が難しい大規模な EC サイトを構築する場合、ストアを拡張する機能が豊富な Shopify Plus（ショッピングファイブプラス）のプランをご用意しています。Shopify の構築や運用を外部の会社をお願いしたい場合は、Shopify パートナーに加え、Shopify Plus パートナーにもご相談することが可能です。

→ Shopify Plus にご興味がある方は **5 ページ**へ

## Shopifyの通常料金プラン

	ベーシック 小規模な事業者さまや 個人ストアにおすすめ	スタンダード 中規模な事業者さまや売上が 増えてきた方におすすめ	プレミアム 大規模なチームをお持ちの 事業者さまにおすすめ
月額料金	米ドル\$ <b>29</b>	米ドル\$ <b>79</b>	米ドル\$ <b>299</b>
<b>特徴</b>			
ネットショップ EC サイトとブログを含む	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
無制限の商品登録数	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
スタッフアカウント数 管理画面と Shopify POS へのアクセス権があるスタッフ メンバーです	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>15</b>
日本語のメールサポートと SNS サポート	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
販売チャネル追加機能 オンラインマーケットプレイスとソーシャルメディアで販 売するチャネルの公開状況は国によって異なります	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
手動で注文作成	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
クーポンコード	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
無料 SSL 証明書	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
カゴ落ち対策メール	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ギフトカード	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
プロフェッショナルレポート	—	標準	詳細

	ベーシック 小規模な事業者さまや 個人ストアにおすすめ	スタンダード 中規模な事業者さまや売上が 増えてきた方におすすめ	プレミアム 大規模なチームをお持ちの 事業者さまにおすすめ
カスタムレポートビルダー	—	—	○
外部サービスの計算済み配送料 チェックアウト時に自分のアカウントまたは外部アプリで 計算された料金を表示する	—	—	○
<b>SHOPIFY ペイメント</b>			
不正分析	○	○	○
日本発行の オンラインクレジットカード手数料	<b>3.4%+0 円</b>	<b>3.3%+0 円</b>	<b>3.25%+0 円</b>
海外発行 / AMEX の オンラインクレジットカード手数料	<b>3.9%+0 円</b>	<b>3.85%+0 円</b>	<b>3.8%+0 円</b>
JCB のオンライン クレジットカード手数料	<b>4.15%+0 円</b>	<b>4.1%+0 円</b>	<b>4.05%+0 円</b>
Shopify ペイメントを有効にせず他の 決済サービスを使用する場合の追加料金	<b>2.0%</b>	<b>1.0%</b>	<b>0.5%</b>

※ Shopify ペイメント以外の決済サービスを使用する場合の追加料金とは、クレジットカード決済に Shopify ペイメント以外のサービス (Stripe や 2Checkout など) を設定した際に追加される料金です。Shopify ペイメントを設定中なら、Amazon Pay や PayPal などの決済方法をご利用いただいても追加料金はかかりません。

## Shopify Plus でワンランク上の EC を目指す

Shopify Plus では、利用できる機能が増えることで、より拡張性の高いストアを構築できるようになります。また、運用面でも、事業の拡大に合わせて柔軟に対応できるサービスを提供しています。

### Shopify Plus の基本サービス



#### 運営スタッフのアカウント数が無制限

ストアを運営できるスタッフのアカウント数が無制限に設定できます。一方、通常プランでは 1 名～最大 15 名です。

#### 10 個のサイトをまとめて管理できる

メインストアと 9 つの追加ストアを構築し、一括管理できます。メインストアと同一ブランド・同一商品に限り、月額料金に含まれています。

#### 20 ヶ所のロケーションを設定できる

通常プランでは 3 ヶ所から最大 8 ヶ所のロケーションが設定できますが、Shopify Plus では最大 20 ヶ所まで設定できるので、ビジネス全体での在庫管理が可能になります。

### サービスとサポート体制 (24 時間 / 365 日)

バックエンドのサービスとしてセキュリティは PCI DSS レベル 1 に準拠し、無制限の帯域幅、99.98% のアップタイムが保証されているため、アクセスが急激に増加しても安心してサービスを提供できます。

また、Shopify Plus では専用のサポート窓口があり、24 時間 365 日問い合わせを受け付けています。

## Shopify Plus のストア拡張機能

### 1. SSO (シングルサインオン)

ソーシャルメディアをはじめとした複数のウェブサービスやアプリケーションに、一つのIDとパスワードでログインできます。これにより、認証なしで簡単にログインすることができます。

### 2. チェックアウトページのカスタマイズ

通常のチェックアウトページに表示されている配送先住所や決済情報を、カスタマイズできます。

### 3. マルチチャネル販売

B2B：卸販売に対応したストアの構築が可能です。

### 4. Shopify Plus 専用アプリの導入

EC サイトの拡張性を高めるものから、運用やマーケティング活動を支援する様々なアプリがあります。また、自社がすでに利用しているインフラやアプリケーション対応した Shopify アプリがある場合は、それらを利用することもできます。











## 導入のご相談と Shopify Plus パートナー

Shopify Plus の導入を検討したい方は、以下のサイトの”導入のご相談”からお申し込みください。ご相談は無料です。なお、Shopify Plus を使って具体的な構築を検討される場合は、公式の Shopify Plus パートナーへのご相談も可能です。



世界トップレベルのコマースプラットフォーム  
柔軟かつ迅速な導入プロセス

Shopify Plusは、スケラブルで費用対効果の高いコマースプラットフォームです。今すぐ本格ECサイトを構築しましょう。

[導入のご相談](#)



導入のご相談は、こちらの QR コードを読み込んでください。

<https://www.shopify.jp/plus>










# サービス・機能比較

Shopify のほかにも、ネットショップを開設するサービスは多数あります。どのような機能やサービスがあるのか、自分に合ったサービスはどれかを知るために、代表的なものとして Shopify との違いを紹介します。

サービス・機能比較	自社 EC			モール型 EC
	Shopify	A 社	B 社	C 社
初期費用	0 円	3,300 円	0 円	0 円
月額費用	\$29 ~	3,300 円	無料	4,900 円
クレジットカード手数料	3.25 ~ 4.15% (Shopify ペイメント利用時)	4.0% ~ + 30 円	3.6%+40 円 (別途サービス利用料 3%)	販売手数料に含む。 販売手数料はカテゴリーに 応じて 8 ~ 45%
商品登録数	無制限	無制限	無制限	無制限
容量制限	なし	5GB	なし	—
SNS 連携	○	○	○	—
多通貨販売・海外発送	○	○	○	○
多言語販売	○	○	英語	○
カゴ落ち機能	○	○	—	○

## BASE

BASE は初期費用、月額費用がどちらも無料で最小限のコストでネットショップを開設できます。BASE では、注文が発生したときのみ、手数料がかかります。ネットショップの開設も簡単で、構築から運営までをスマートフォンからでも容易に操作できることがメリットです。また、期間限定や抽選販売など、さまざまな販売形態にも対応しています。

## カラーミーショップ

カラーミーショップは 2005 年にサービスが開始された国内最大級のネットショップ開設サービスです。事業の成長に合わせた 3 つのプランがあり、導入・運用の容易さはもちろん、豊富な機能やカスタマイズのしやすさも魅力的です。日本のサービスとして最適化されているため、国内での販売に力を入れたいユーザーにお勧めです。

## Amazon

Amazon はモール型 EC の代表的なサービスで、利用者は商品ごとに出品できるため、気軽にはじめられます。モール型 EC の最大のメリットは集客力の高さです。すでに多くの利用者が集まる場所でショップを開設できるので、集客にかかる労力を軽減できます。一方で、登録料や手数料がかかったり、ショップのブランディングがしづらいなどのデメリットもあります。

## Shopify

Shopify は全世界 175 ヶ国以上のネットショップで使用されている世界最大級のサービスです。カナダ発の海外サービスですが日本にも拠点があり、サイトの日本語化や日本向けの機能が拡充され、国内企業の導入事例も増えています。Shopify には 3 つの基本プランがあり、月額費用はかかるものの低コストでショップを開設できます。スモールスタートでショップを開設し、事業規模が拡大しても対応できるプランと機能を備えています。また、Shopify の魅力の一つに高い拡張性があります。これは、Shopify の開発者コミュニティが数多く存在し、パートナーやユーザーの間で活発な議論や情報交換が行われているためです。Shopify を利用すれば、常に進化し続ける強力な EC プラットフォームで時代に合ったネットショップを構築することができます。



# ストアを作る前に

Shopify を使って実際にネットショップを作成する前に確認をしておきたいことがいくつかあります。どの決済方法を導入するのかや、ストアで使用する素材、ドメインはどうするのかなどなど。この章では開店前に押さえておきたいポイントを紹介します。

## 決済方法

Shopify は様々な決済方法と連携されており、お客様の多様なニーズに対応できるようになっています。ここでは日本のユーザーに人気の決済方法を紹介します。(2021年11月現在)



Shopify が提供するクレジットカード決済方法です。Apple Pay と Google Pay も同時に導入することができます。Shopify ペイメントを有効化すると、プランによって異なる 0.5% ~ 2.0% の取引手数料がゼロになります。

KOMOJU

コンビニ決済や JCB を含むクレジットカード決済などをストアに導入することができます。LINE Pay や PayPay にも対応しています。

PayPal

Shopify ストアに初期設定から導入されている決済方法です。クレジットカードや銀行口座からの支払いにも対応しています。

amazon pay

Amazon.co.jp のアカウントに登録されているクレジットカード情報を使用して、お客様は商品を購入できるようになります。



ドコモ、au、ソフトバンクの携帯キャリア決済を一括でストアに導入することができます。

Epsilon by GMO

クレジットカード決済やコンビニ決済、代引き決済、後払い決済などをストアに一括導入することができます。

paidy

お客様の「後で支払いたい」に応える Paidy 翌月払いを導入することができます。

SB Payment Service

クレジットカード決済だけでなく、楽天ペイや PayPay などの決済方法にも対応しています。

shop Pay

Shopify が提供する決済サービスで、住所やクレジットカード情報を一度登録しておくことで、次回以降の決済がスムーズに行えます。

### 決済手数料比較

shopify payments	PayPal	amazon pay	KOMOJU	docomo digital	GMO Epsilon	paidy	SB Payment Service
3.25%~3.4% <sup>*1</sup> 3.8%~3.9% <sup>*2</sup> 4.05%~4.15% <sup>*3</sup>	3.6% + 40円 <sup>*4</sup>	4.0% <sup>*5</sup>	2.75% (コンビニ決済)	6.4% <sup>*6</sup>	3.2% <sup>*7</sup> 3.5% <sup>*8</sup>	個別案内	個別案内

\*1 日本国内発行の Visa、Mastercard の決済手数料 (ベーシック 3.4%、スタンダード 3.3%、プレミアム 3.25%)

\*2 American Express もしくは海外発行カードの決済手数料 (ベーシック 3.9%、スタンダード 3.85%、プレミアム 3.8%)

\*3 JCB の決済手数料 (ベーシック 4.15%、スタンダード 4.1%、プレミアム 4.05%)

\*4 国内標準レート

\*5 デジタルコンテンツ以外の決済手数料

\*6 デジタルコンテンツ以外の決済手数料

\*7 Visa、Mastercard の決済手数料 (Diners は 3.5%)

\*8 American Express、JCB の決済手数料。月額最低手数料が必要な場合あり。

# お役立ちツール

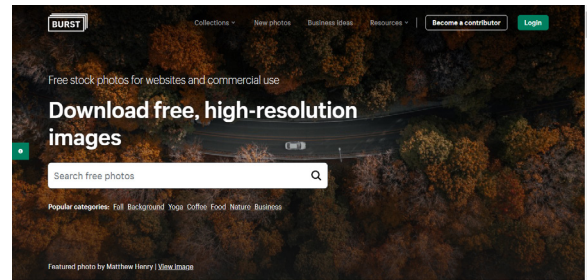
ネットショップを開設するにあたってロゴや素材、規約類が必要になります。プロに頼むとお金がかかるし、自分で作るデザインカ・機材もないという悩みは最初期ではよくある話です。Shopify では誰もが必要な素材を簡単に用意できるよう、無料のロゴ作成ツールやフリー画像、規約ジェネレーター等を皆さまに提供しています。

## ロゴメーカー (Hatchful)



ビジネスやネットショップのロゴを簡単に無料で作成することができるツールです。  
<https://hatchful.shopify.com/ja/>

## フリー素材 (Burst)



起業家にぴったりの無料画像が見つかるサイトです。ジャンルごとに画像を探ことができ、毎週新しい画像が追加されています。  
<https://burst.shopify.com/>

## 利用規約ジェネレーター

ネットショップ向けのシンプルな利用規約を無料で自動生成できるツールです。  
<https://www.shopify.jp/tools/policy-generator/terms-and-conditions>

## プライバシーポリシージェネレーター

ネットショップ向けのプライバシーポリシーを無料で自動生成できるツールです。  
<https://www.shopify.jp/tools/policy-generator>

# ドメイン

ネットショップのドメイン名もしっかりと考える必要があります。Shopify では、一度登録をすると「○○.myshopify.com」(○○は登録時に決めることができ、変更はできません。英数字でご登録ください) というドメインが各サイトに付与されますが、独自ドメインを使うこともできます。

独自ドメインを使う際には以下の2つの方法があります。

## 1 Shopify内でドメインを購入する。

Shopify に登録後、すぐに独自ドメインを購入して、接続することができます。

## 2 他社サービスで取得したドメインをShopifyストアと連携する。

サービスによってサービス側での設定方法が異なりますが、DNSレコードを以下のように指定してください。

A レコード

**23.227.38.65**

CNAME レコード

**shops.myshopify.com**

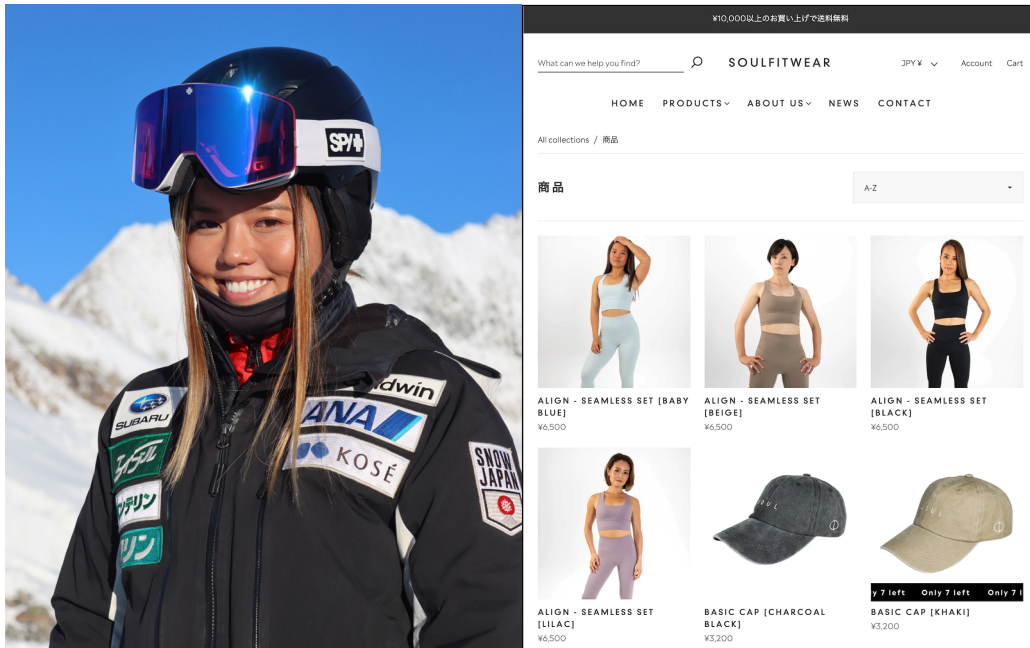
## ショップインタビュー

## SOULfitwear

https://soulfwear.jp/

## スノーボード日本代表 鈴木瑠奈さん

1996年生まれ。東京都出身。17歳からスノーボードクロスを始め、得意の英語とホッケーで鍛えた運動神経を武器に、プロスノーボーダーとしてキャリアを重ねる。全日本スキー連盟の2021/2022シーズン スノーボードクロス強化指定選手。2020年11月にフィットネスウェアブランド「SOULfitwear」を立ち上げ、現役アスリートによるビジネスとして注目を集める。



## Q. ビジネスを始めた理由は？

A. 2020/2021シーズンに初めて勝ち取ったワールドカップへの出場権が、コロナ渦の大会中止によって失われました。また、世界的な大混乱の中、スポンサー企業が決まらず、活動資金が尽きて活動を休止せざるを得ない状況になったのですが、大好きなスノーボードを諦めたくなかったので、資金集めのために起業することを決めました。

## Q.Shopifyを選んだ理由は？

A. ECを運営している知人からお勧めされたのがきっかけです。いろいろなECカートを検討しましたが、Shopifyを選んだ理由は2つあります。1つは、デザイン性の高さです。さまざまなテーマが選べて、プロフェッショナル。自分で操作してもクオリティの高いサイトができるところです。2つ目は手数料の手頃さですね。Shopifyの使い方は、練習のすきま時間を見つけて独学で学びました。

## Q. ショップ運営で心がけていること

A. 「お客様とのコミュニケーション」を大切にしています。いただいたお問い合わせにはできる限り迅速に回答するようにしていますし、サイト上の写真やブログ・SNSを効果的に使うことによって、ブランドのコンセプトやミッションをお客様にお届けしたいと思っています。

# 1

## ストアを作って 商品登録をしよう

ここからは実際に Shopify でネットショップを開設します。この章ではストアを開設した後に、商品を追加して、コレクションを作成し、新たなページを作成するまでを紹介します。

# Shopifyストアを開設する

Shopifyへようこそ！ここからShopifyストアを実際に作成していきます。まずは、Shopifyに登録して、14日間の無料トライアルを体験しましょう！

- 01 Shopifyのホームページから“無料体験をはじめる”をクリックします。



- 02 メールアドレス、パスワード、ストアの名前、ストアURLを入力して、“ストアを開く”をクリックしてください。  
※ストアURLは最初に付与されるドメイン「〇〇.myshopify.com」の「〇〇」の箇所です。他の人が使用しているURLは使用できないので、オリジナルの英数字を入力してください。

Shopifyの14日間の無料体験をはじめる！

メールアドレス

パスワード  
5文字以上で入力してください

ストア名  
ストア名はあとからでも変更できます。

ストアURL  
ストアURLはストアの初期ドメインです。独自ドメインをあとから追加することも可能です。またストアURLはログインの際にも使用します。

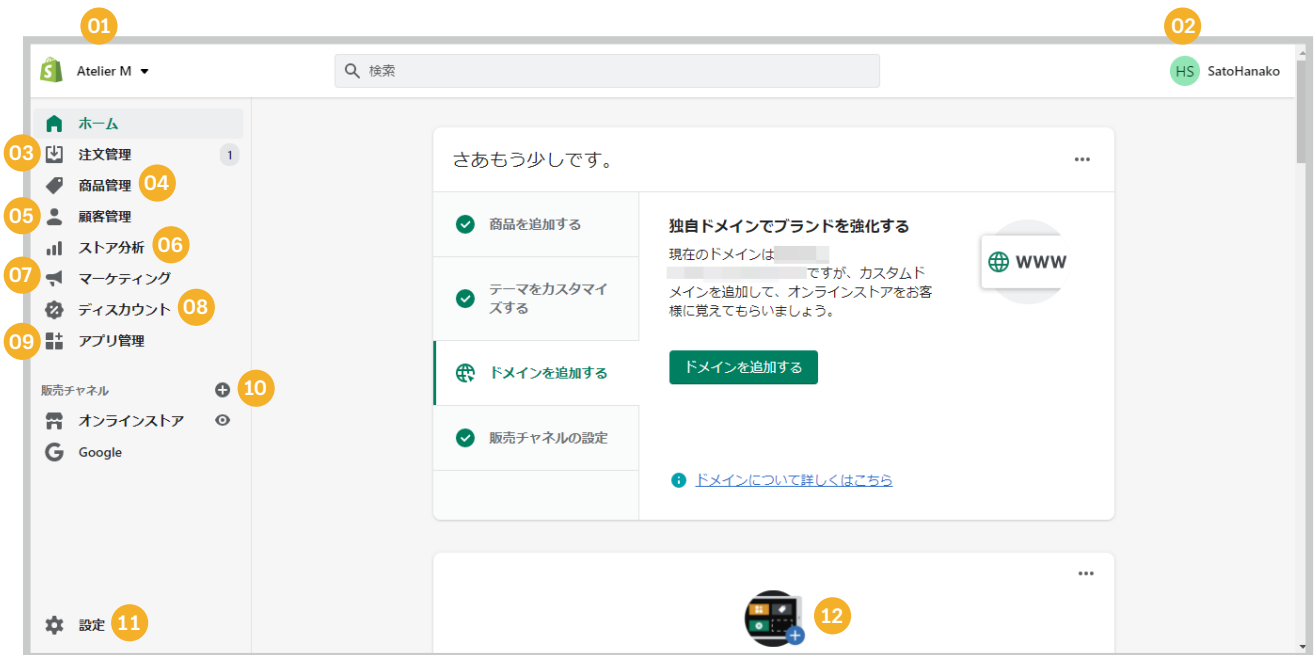
**ストアを開く**

- 03 簡単なアンケートに答えて、ストアの住所を入力してください。

- 04 これで完了です！ 14日間の無料トライアルが始まりました。ここから、Shopifyを使ったストアを作ってみましょう！

# 管理画面を解説

管理画面はストア運営で最も大切な場所です。Shopifyには様々な機能があるため、最初は混乱するかもしれませんが、慣れてしまえばとても簡単です。早速、管理画面を見てみましょう。



**01** 複数ストアを持つときは他ストアの管理画面に行くことができます。

**02** ストアからログアウトをするときや、ヘルプセンターやコミュニティにアクセスするときに使います。

**03** 注文処理や新規注文作成など注文の管理ができます。

**04** 商品を追加・編集・削除、在庫を管理、コレクションを追加するときなどに使います。

**05** 顧客情報を管理できます。

**06** ストアに関する様々なデータやレポートを確認できます。

**07** Google や Facebook のキャンペーンを作成できます。

**08** ディスカウントコードを作成できます。

**09** ストアにインストールしたアプリを管理できます。

**10** 新たな販売チャネルを追加できます。

**11** 通貨、送料、決済手段、通知メールなどストアの裏側の設定を管理できます。

**12** ストア運営に関わる情報や最新ニュースなど、様々な情報が表示されます。私たちはホームカードと呼んでいます。

## 商品を登録する

商品情報を登録し、ストアに商品を追加します。ストアに商品を登録する方法は、直接 Shopify の管理画面内で商品情報を入力する方法と、CSV ファイルを使って一括登録する方法がありますが、ここでは Shopify 内で入力する方法を説明します。

- 01 管理画面から“商品管理”をクリックします。



- 02 “商品を追加する”をクリックします。



- 03 商品情報を入力して“保存する”を押します。





# 商品編集画面を解説

商品編集画面の説明です。各項目、必要な箇所に情報を追加して商品を登録します。すべての項目を入力する必要はありません。商品登録後に情報を編集することもできます。

The screenshot shows the Shopify 'Add product' page. The left sidebar contains navigation menus for 'Home', 'Orders', 'Products', 'Customers', 'Analytics', 'Marketing', 'Discounts', 'Apps', and 'Sales channels'. The main content area is divided into several sections, each with a numbered callout:

- 01** タイトル (Title): 半袖Tシャツ
- 02** 説明 (Description): 標準
- 03** メディア (Media): ファイルを追加
- 04** 価格設定 (Pricing): 価格 ¥ 0, 割引前価格 ¥ 0
- 05** 在庫 (Inventory): SKU, バーコード (ISBN, UPC, GTINなど)
- 06** 配送 (Shipping): 配送が必要な商品です
- 07** 重量 (Weight): 0.0 kg
- 08** 関税情報 (Tax info): 配送元の国や地域
- 09** オプション (Options): この商品にはサイズや色などのオプションがあります。
- 10** 検索結果のプレビュー (Search preview): タイトルと説明文を追加して商品が検索結果でどのように表示されるのかを確認する
- 11** 商品のステータス (Product status): 下書き
- 12** 販売チャネルとアプリ (Sales channels and apps): オンラインストア, Google
- 13** 分類 (Classification): 販売元 例: Nike
- 14** コレクション (Collections): コレクションを検索する
- 15** タグ (Tags): ウィンテージ, コットン

- 01 商品名
- 02 商品説明
- 03 メディア(商品画像や動画)
- 04 商品価格
- 05 在庫管理用のコードと在庫数
- 06 配送設定
- 07 商品重量
- 08 関税用の情報
- 09 商品オプション
- 10 検索エンジン用の情報
- 11 商品のステータス
- 12 販売チャネル
- 13 商品タイプと販売元管理
- 14 コレクション
- 15 タグ管理

# 商品にオプションを追加する

商品にサイズや色などの異なる種類がある場合にはオプションを登録します。

**01** 該当する商品の“この商品にはサイズや色などのオプションがあります。”にチェックします。



**02** オプションの名前を入力して、オプションを追加します。  
さらに別のオプションを追加する場合は“別のオプションを追加する”から入力します。



**03** 価格や在庫数などを入力して、“保存する”を押します。



## 商品を削除する

商品情報をストアから削除します。商品一覧画面から削除する方法と、商品編集画面から削除する方法があります。なお、一度削除した商品は元に戻すことができないのでご注意ください。

### 商品一覧画面から商品を削除する

- 01 削除したい商品を選択します。



- 02 “その他の操作”をクリックして、“商品を削除する”を押します。ポップアップ画面の“商品を削除する”をクリックして、商品を削除します。

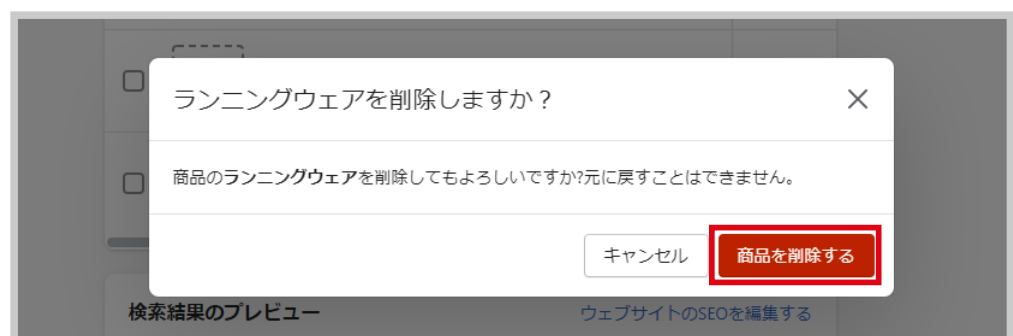


### 商品編集画面から商品を削除する

- 01 削除したい商品の編集ページに行き、ページ下部の“商品を削除”をクリックします。



- 02 ポップアップ画面の“商品を削除する”をクリックして、商品を削除します。



## コレクションを作成する

コレクションを作成します。コレクションとは、商品をグループ化した商品群のことです。コレクションを使うことによって、ジャンルごと、ブランドごと、色ごとなど様々なカテゴリを作成することに役立ちます。コレクションには自分で商品を選んで作成する「手動コレクション」と、タグやカテゴリ、価格などの条件を指定して、その条件に基づいて自動で商品进行分类する「自動コレクション」の2種類があります。まずは「手動コレクション」の作成方法から見ていきます。

### 手動コレクションを作成する

01 商品管理からコレクションをクリックします。

02 “コレクションを作成する”をクリックします。



03 タイトルと説明（必須ではありません）を入力し、コレクションの種類で“手動”を選択します。その後、“保存する”をクリックします。



04

保存をすると、同じページに商品管理のセクションが出現するので、コレクションに入れたい商品を“閲覧する”から選んで“追加”をクリックします。



05

商品の順番を変えたいときは、“並び替え”をクリックします。手動を選択すると、商品をドラッグして、順番を入れ替えることができます。



# 自動コレクションを作成する

- 01 自動コレクションを作成する場合は、コレクション編集画面で“自動”を選択します。



- 02 コレクションの条件を指定します。条件には「商品名」、「商品タイプ」、「商品の販売元」、「商品価格」、「商品タグ」、「割引前価格」、「重量」、「在庫数」、「バリエーション名」から指定できます。異なる条件を追加して、さらに複雑なカテゴリー分けをしたいときは、“別の条件を追加する”から新たな条件を追加してください。



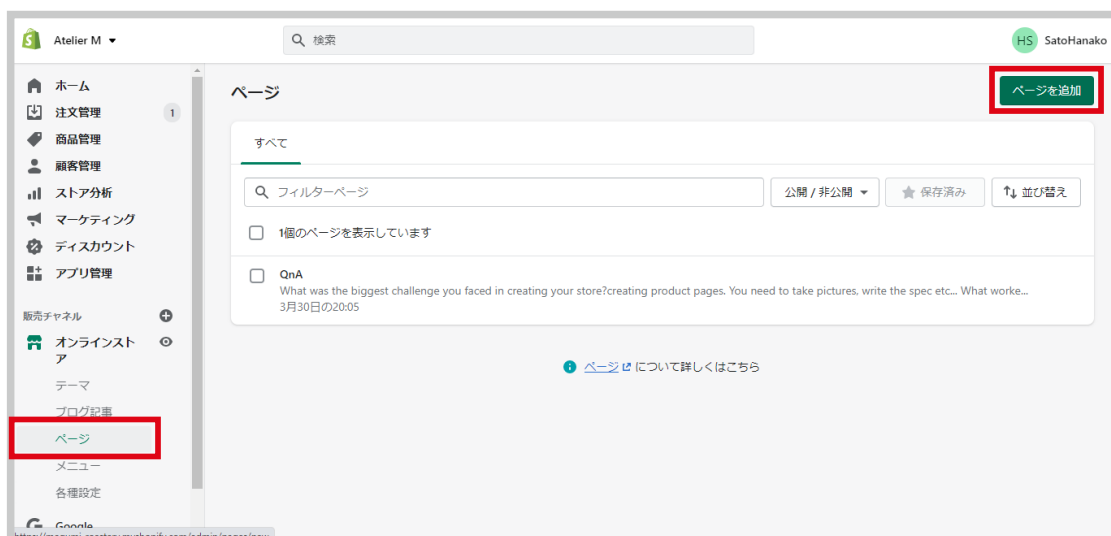
- 03 “保存する”を押すと、コレクションが完成します。以下の例では商品タグに「鬼滅の刃」と追加されている商品が自動でコレクションに追加されました。



## ページを作成する

ネットショップに必要なのは商品だけではありません。ストアに About ページやお問い合わせページ、ポリシーページなどを追加して、よりお客様にとってわかりやすいストアにしましょう。

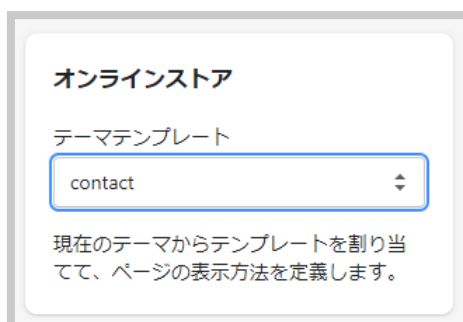
- 01 管理画面から“オンラインストア”を選択し、“ページ”、“ページを追加”をクリックします。



- 02 タイトルとコンテンツを追加し、“保存する”を押します。



- 03 お問い合わせページを作成したいときは、テンプレートから「contact」を選択して、上記と同じようにページを作成します。







# 2

## テーマを 編集しよう

第1章ではストアに商品を追加したり、コレクションを作成したりしましたが、この章では、実際にテーマ(テンプレート)を編集してネットショップの見た目を作っていきます。

# メニューを作成する

コレクションやページを作成しただけでは、ストアには表示されません。メニュー機能を使うことでストアに反映させることができます。ここでは、ストアの上部のメインメニューにリンクを追加する方法を説明します。

- 01 管理画面からオンラインストアをクリックして、“メニュー”を選択します。



- 02 “メインメニュー”をクリックします。



- 03 “メニュー項目を追加する”をクリックします。



04

メニューの名前（ストアに表示されます）を入力して、リンクを選択します。  
“追加する”をクリックして、“メニューを保存”を押します。

これで追加したメニューがストアに反映されました。



## ドロップダウンメニューを作成する

ストアに様々な商品があるときは、より多くのカテゴリを作成する必要があるかもしれません。そのようなときにはドロップダウンメニューを活用して、お客様にわかりやすいネットショップにします。その作り方を見ていきましょう。

01

この例では「トッパス」という大きいカテゴリの中に、「おすすめ」と「Tシャツ」を入れていきます。



02

「おすすめ」をクリックして、「トッパス」の下までドラッグして、右に少しずらします。



03

すると、「おすすめ」が「トップス」の中に収まります。



04

「Tシャツ」も同じように、「トップス」の中に収めました。“保存する”をクリックします。以下の画像のように、ドロップダウンメニューが完成しました。



「トップス」のような大カテゴリーにリンクを貼りたくないときは、リンク先に「#」を追加してください。



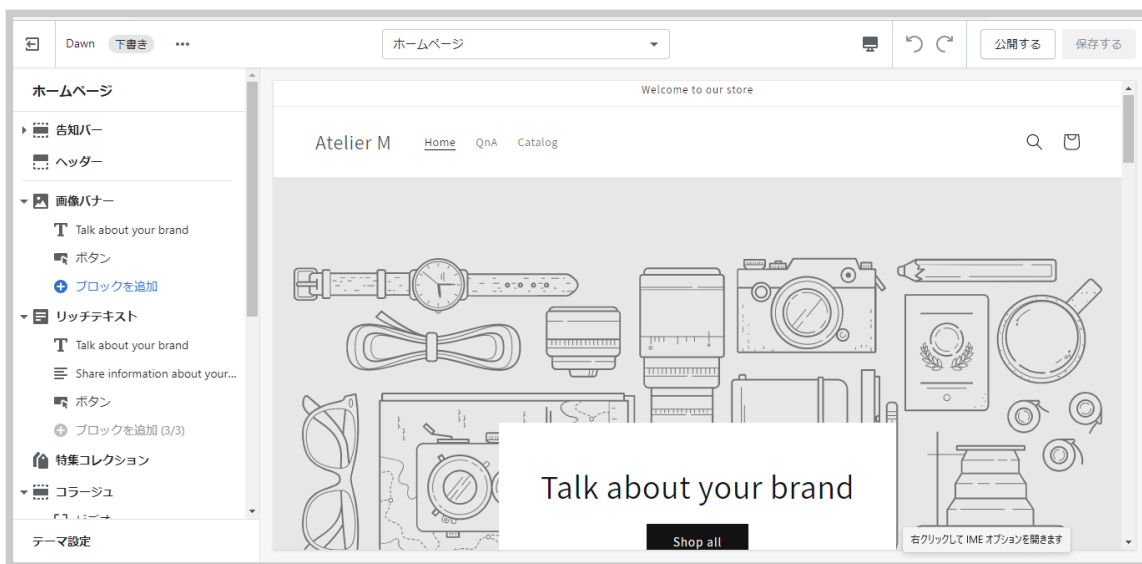
# テーマを編集する

次はストアの見た目を整えてみましょう。Shopifyでは、ストアに表示させるコンテンツをテーマエディターから簡単に編集することができます。デザインやプログラミングの知識は必要ありません！

- 01 管理画面から“オンラインストア”をクリックし、Dawnの“カスタマイズ”を選択します。



- 02 こちらがストアのテーマエディターです。



03

各部分を詳しく説明します。①のアイコンをクリックすると、管理画面に戻ります。②では、編集したいページに飛ぶことができます。③では、モバイルとデスクトップでのストアの見え方を確認することができます。



ページ下部のテーマ設定では、ストアの背景色、文字のフォント、SNSのリンク、ファビコンなどを編集できます。コードや言語を編集したい場合は、オンラインストアのテーマにある「ライブテーマ」から「アクション」をクリックして各ページへアクセスできます。

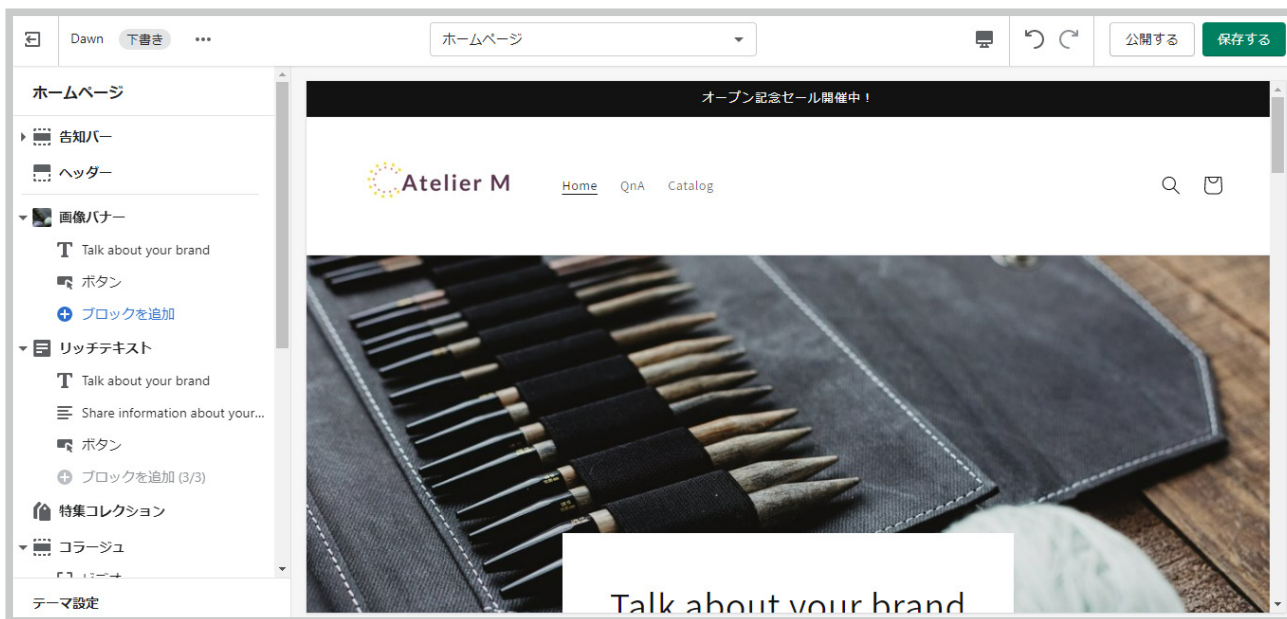


04

“セクションを追加する”では、様々な種類のコンテンツをストアに追加できます。なお追加できるコンテンツの種類はご使用中のテーマによって異なります。



以下の画像は、実際に告知バー、メイン画像と、ロゴだけを追加したストアの様子です。なお、画像はBurstでダウンロードし、ロゴはHatchfulで作成しました。



## テーマを追加する

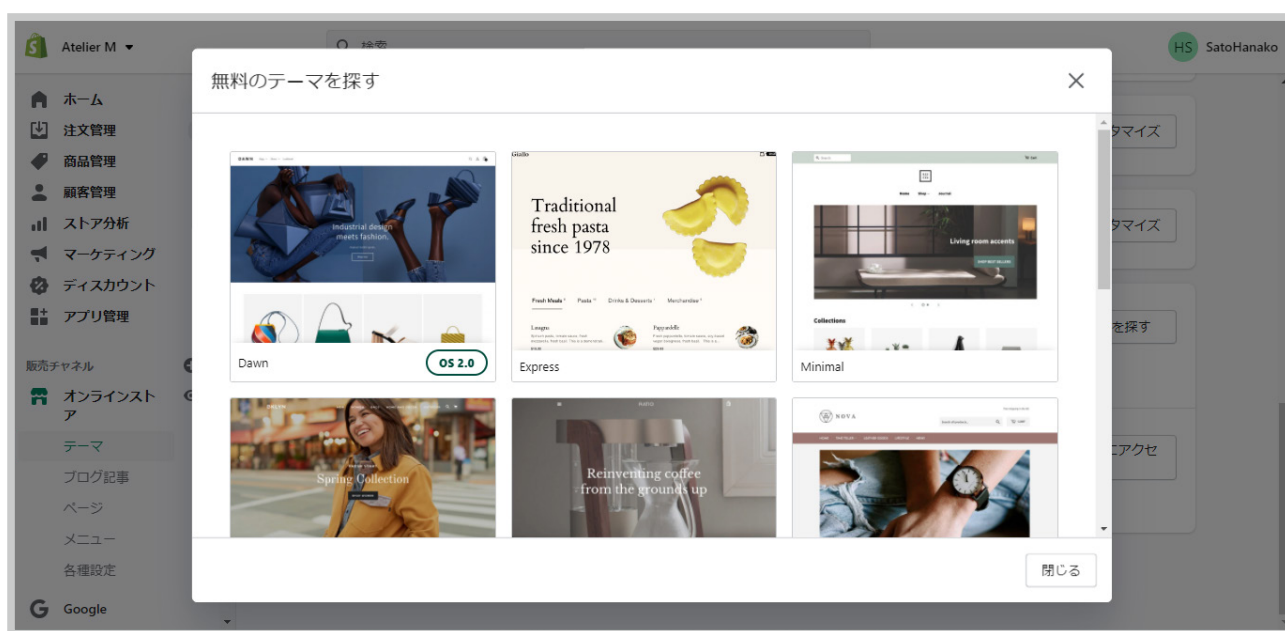
Shopifyに登録すると、「Dawn」というテーマがストアに設定されています。最もベーシックなテーマで多くのストアが使っていますが、Shopifyでは様々なテーマを試すことができます。無料のテーマから有料のテーマまでShopify テーマストアでは多くのテーマが用意されているので、ストアに合ったデザインを見つけましょう。

## 無料のテーマを追加する

- 01 オンラインストアからページ下部の“無料のテーマを探す”をクリックします。



- 02 好きなテーマを選び、“テーマライブラリーに追加する”をクリックします。



03

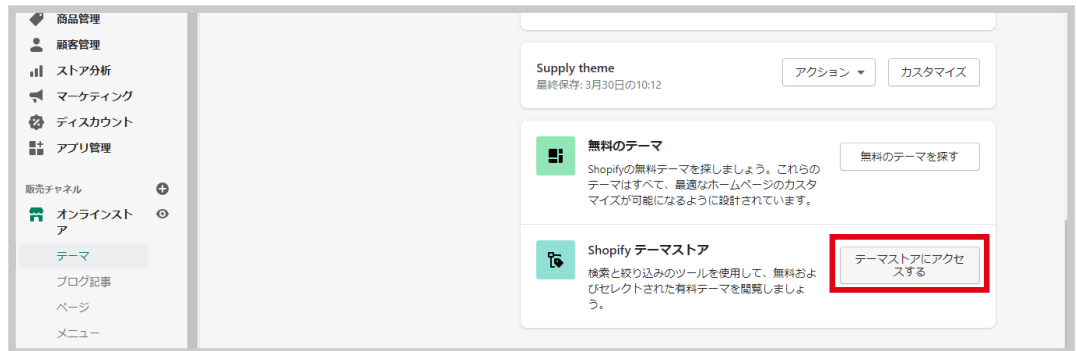
新しくテーマが追加されました。このテーマを公開するためには、“アクション”から“公開”を選び、公開せずに編集したいときは“カスタマイズ”をクリックしてください。



## 有料テーマをテスト・購入する

01

オンラインストアからページ下部の“テーマストアにアクセスする”をクリックします。



02

テーマストアでお好きなテーマを選び、“テーマを試す”をクリックすると、テーマをテストできます。これによって、新しいテーマがストアに合うのかどうかを確認することができます。また、“テーマを購入する”をクリックすると、テーマの購入手続きに進みます。なお、有料テーマの返金はできませんのであらかじめご了承ください。





# 3

## ストアの裏側を 設定しよう

第3章ではストアの実務に必要な配送料や決済方法などを設定します。ストアを公開する前にしっかり設定して、準備万端の状態ですトアの公開を目指しましょう。

## ストアの情報を編集する

ストア名やストアの住所、ストアで使用する通貨などを編集します。

- 01 管理画面から“設定”をクリックします。



- 02 “ストアの詳細”のページ上部ではストアの名前や住所、メールアドレスを編集できます。

「ストア連絡先メール」とは、Shopifyへ登録時に使用したメールアドレスで、Shopifyがアカウントについて連絡する必要がある場合に使用されます。一方、「送信元のメールアドレス」は、お客様に送られる注文確認のメールなど、お客様へ通知が必要なお知らせに表示されるメールアドレスです。ストアで使用するお客様用のメールアドレスがあったら、それを設定しておきましょう。



「ストアの詳細」のページ下部では、ストアのタイムゾーン、単位方式、注文番号のプリフィックスとサフィックス、ストアの通貨を変更することができます。

設定

### 基準と表示形式

基準と表示形式は商品価格、配送重量、注文時間を計算する際に使用されます。

タイムゾーン

(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京

単位方式

計量システム

デフォルトの重量単位

キログラム (kg)

**注文IDの形式を変更する (任意)**

注文番号は初期設定では#1001から始まります。番号自体は変更できませんが、プリフィックスとサフィックスを追加して「EN1001」や「1001-A」などを変更することができます。

プリフィックス

#

サフィックス

注文IDは#1003、#1002、#1001のように表示されます。

### ストア通貨

これは商品販売に使用している通貨です。最初の販売の後、通貨は固定されて、変更することはできなくなります。支払い通貨を変更するには、[決済設定](#)へ移動します。[ストア通貨](#) について詳しくはこちら

ストア通貨

円 (JPY)

[表示形式を変更する](#)

保存する

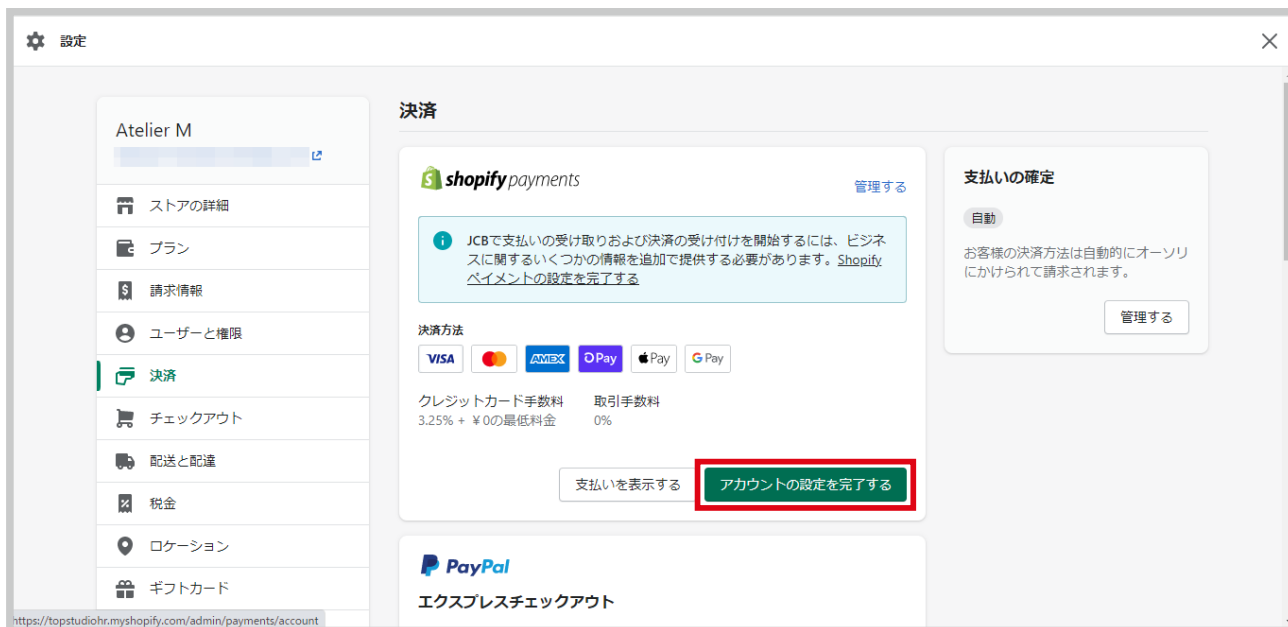
## 決済方法を設定する

ストアで使用する決済方法を設定します。決済方法については8ページをご覧ください。Shopifyではストア登録時から「Shopify ペイメント」というクレジットカード決済が有効となっており、ストアの銀行口座などの情報を入力するだけですぐに支払いを受け取れるようになっています。早速、設定してみましょう。

- 01 管理画面から“設定”を選び、“決済”をクリックします。



- 02 Shopify ペイメントの“アカウントの設定を完了する”をクリックします。

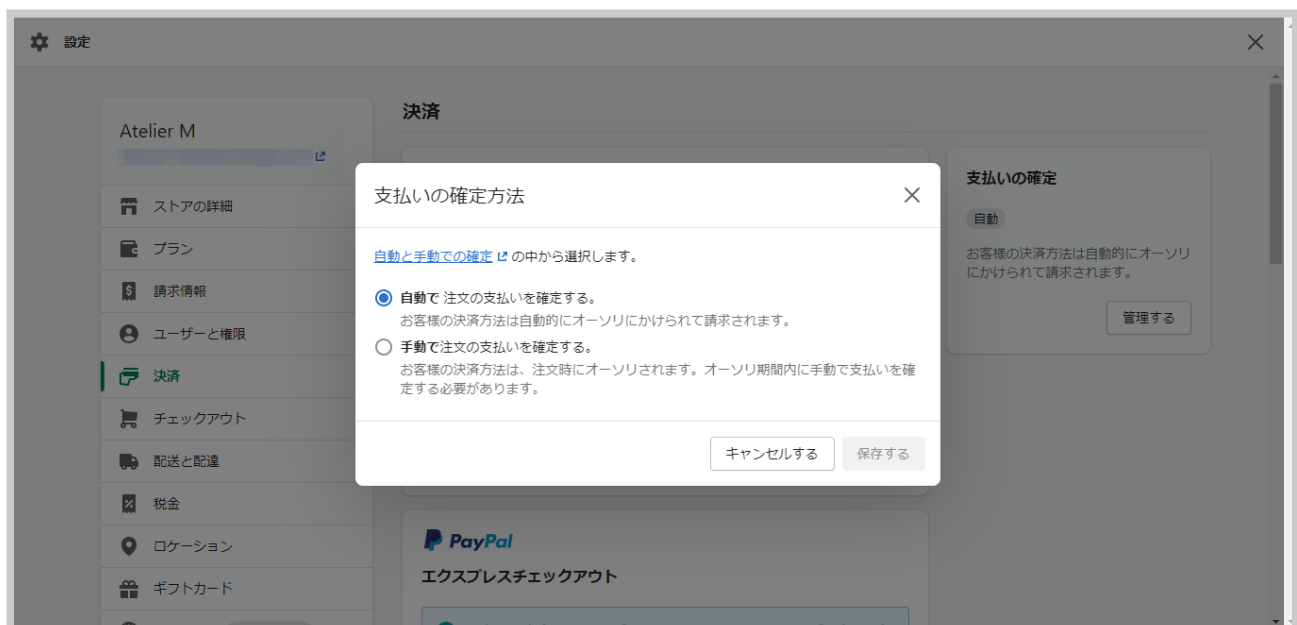



**注意：**

Shopify ペイメントを設定後、売上が一定金額を超えると、追加の本人確認をさせていただきます。必要書類はビジネスの種類によって異なりますが、免許証（両面）やパスポートなどの顔写真付き身分証明書をご準備ください。

## 支払いの確定とは

Shopify ではお客様が注文の決済をクレジットカードで行った後に、ストア内で各決済をどのように処理するのかを選択することができます。



自動で注文の支払いを確定する - お客様がクレジットカードで注文後に Shopify 側で自動でオーソリと請求額の回収を行います。

手動で注文の支払いを確定する - お客様がクレジットカードで注文後にカードのオーソリは行われますが、請求額の回収は手動で行います。

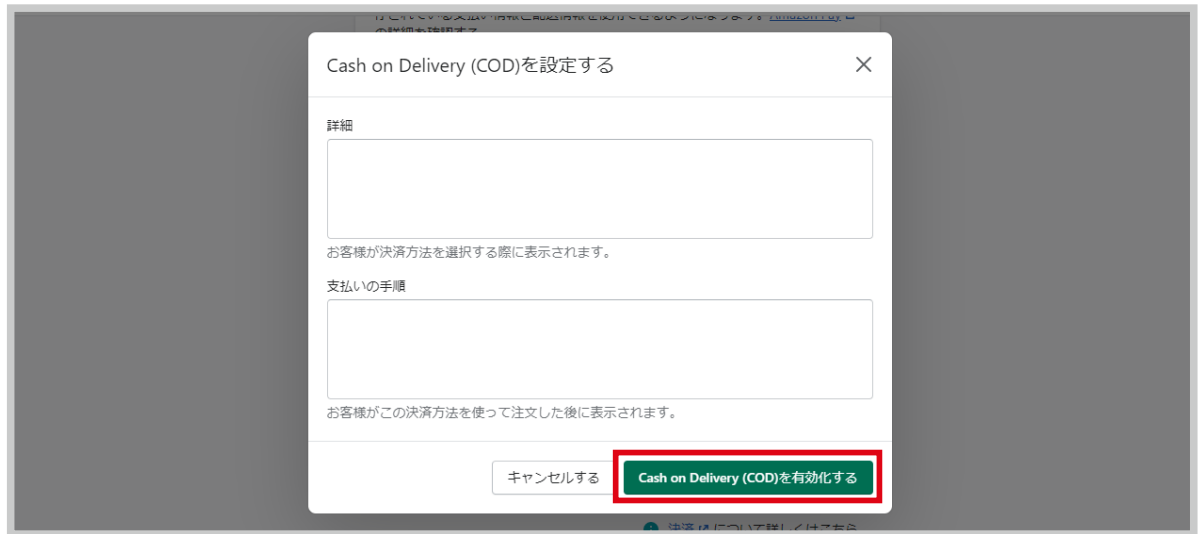
## 他の決済方法を設定する

Shopify では手動の決済方法として代引き（代金引換）や銀行振込の決済方法を簡単に作成することができます。ここでは代引きの設定方法を確認します。

- 01 決済設定内の“手動の決済方法”から“Cash on Delivery (COD)”を選択します。



- 02 「詳細」と「支払いの手順」にお客様への説明文を入力します。「詳細」は、お客様の購入手続き画面上に表示され、「支払いの手順」はお客様の購入完了画面上に表示されます。“有効化する”をクリックして設定を完了させます。  
※代金引換などの追加手数料は Shopify 上では加算して表示させることができませんのでご注意ください。



- 03 設定を完了すると以下のようにお客様に表示されます。



購入手続き画面の例



購入完了画面の例

# ストアに送料を設定する

ストアに送料を設定します。お客様が商品を注文するとき気になるポイントのひとつが送料です。Shopifyでは世界中の国々に向けて異なる送料を設定することができます。注文の総重量に基づいた送料、もしくは注文価格に基づいた送料を設定してみましょう。

- 01 管理画面から“設定”をクリックし、“配送と配達”を選択します。



- 02 “送料を管理する”をクリックします。



03

初期設定では47都道府県すべてが選択されています。配送エリアの地域分けをする場合は、国内配送横の“...”をクリックし、“ゾーンを編集する”を選択し、必要な都道府県を選択してください（例えば日本の地域ごとに送料を分けたいときは、異なる地域ごとに“新しい配送エリアを作成する”から該当する都道府県を選択して、送料を作成します）。



04

続いて送料のルールと料金を設定します。通常配送横の“...”をクリックし、“送料を編集する”を選択してください。



05

送料の名前や、料金、配送する商品の重量範囲を入力し、“完了”をクリックします。その後、“保存”を押します。





06

同じ配送エリアで異なる送料の条件を作成するときは、“送料を追加する”から設定してください。



07

注文価格に基づいた送料を設定する場合（例：0円～5,000円で送料1,000円）は、“送料を追加する”から“条件を追加”をクリックし、“注文額に基づく”を選択して送料を設定してください。



## 商品別送料を設定する

異なる送料が適用される商品をお持ちの方は、商品ごとに異なる送料ルールを設定して、お客様に提供することが可能です。

01

“配送と配達”から“新しいプロファイルを作成する”を選んでください。



02

名前を決め、該当商品を“商品を追加する”から選びます。



03

“新しい配送エリアを作成する”から商品を配送する地域を作成し、38 ページで説明した方法で送料を作成してください。



## 日本で人気のアプリを紹介

Shopifyでは7000以上ものアプリ(拡張機能)によって、ストアをさらにカスタマイズすることができます。すべてのアプリを紹介するのは難しいですが、ここでは日本で人気のあるアプリを紹介します。

<p>Ship&amp;co</p>  <p>様々な会社の送り状がワンクリックで発行できるので、出荷作業時間を短縮することができます。</p>	<p>Instafeed</p>  <p>ストアにInstagramのフィードを掲載して、投稿内にある商品を紹介することができます。</p>	<p>配送日時指定</p>  <p>配送希望日時を指定するセクションを簡単にストアに追加することができます。</p>
<p>Klaviyo: Email Marketing &amp; SMS</p>  <p>メルマガなどを配信してメールマーケティングを自動化できるアプリです。テンプレートが豊富で導入も簡単です。</p>	<p>PageFly Landing Page Builder</p>  <p>コーディング不要で本格的なランディングページを簡単に構築するアプリです。ドラッグ&amp;ドロップエディタでページ全体の設計を自由にカスタマイズできます。</p>	<p>Printful</p>  <p>低リスクで1枚からTシャツやオリジナルプリント商品を作成して、世界中へ販売することができます。</p>
<p>配送マネージャー</p>  <p>配送日時指定、伝票の一括出力、送り状番号の一括処理が一度にできます。日本向けの配送伝票に連携できるCSVファイルを作成できます。</p>	<p>Matrixify</p>  <p>顧客情報や注文情報といったデータのインポート/エクスポートに特化したアプリです。CSVファイルのほか、ExcelやGoogle スプレッドシートも使えます。</p>	<p>Page Speed Booster (遷移速度改善アプリ)</p>  <p>ページの読み込み時間を減らして、ユーザーにとって快適な買い物体験を提供することができるアプリです。コーディングの必要がなく、簡単に設定できます。</p>
<p>定期購買</p>  <p>商品やサービスの定期購入(サブスクリプション)を設定できます。会員ランクやLINE連携、他の定期購買アプリの移行などさまざまな機能を備えています。</p>	<p>チャンネルトーク</p>  <p>ストアにチャット窓口を設置し、オンライン接客やカスタマーサポートを行うことができます。実店舗のような購買体験をストアで実現するためのアプリです。</p>	<p>Judge.me Product Reviews</p>  <p>商品ページにレビュー機能を実装できます。レビューのリクエストメールの設定やSNS連携などマーケティング的な機能も含まれます。</p>
<p>まるっと集客</p>  <p>Google 広告やFacebook 広告、各種ポイントサイトなどにShopifyから最も簡単に店舗の商品を掲載できます。</p>	<p>Quick Order Printer かんたん帳票出力</p>  <p>領収書/納品書/請求書/見積書を簡単に自動作成することができます。一括印刷、振込先の登録など便利な機能があります。</p>	<p>CRM PLUS on LINE</p>  <p>ShopifyとLINEを連携し、活用するアプリです。ソーシャルログインやメッセージ配信などLINEを活用した便利なユーザー体験を提供します。</p>

# 4

## 開店準備をしよう

第4章ではストアを世界へ向けて公開します。ストアの設定において最後に確認しておくべきことを、この章ではご紹介します。

## プランを契約する

Shopifyを使って実際に商品を販売するためにはプランを契約する必要があります(4ページを参照)。プランを契約する際にはクレジットカードの情報入力が必要ですが、14日間の無料体験が終了するまでは、月額利用料金は課金されません。

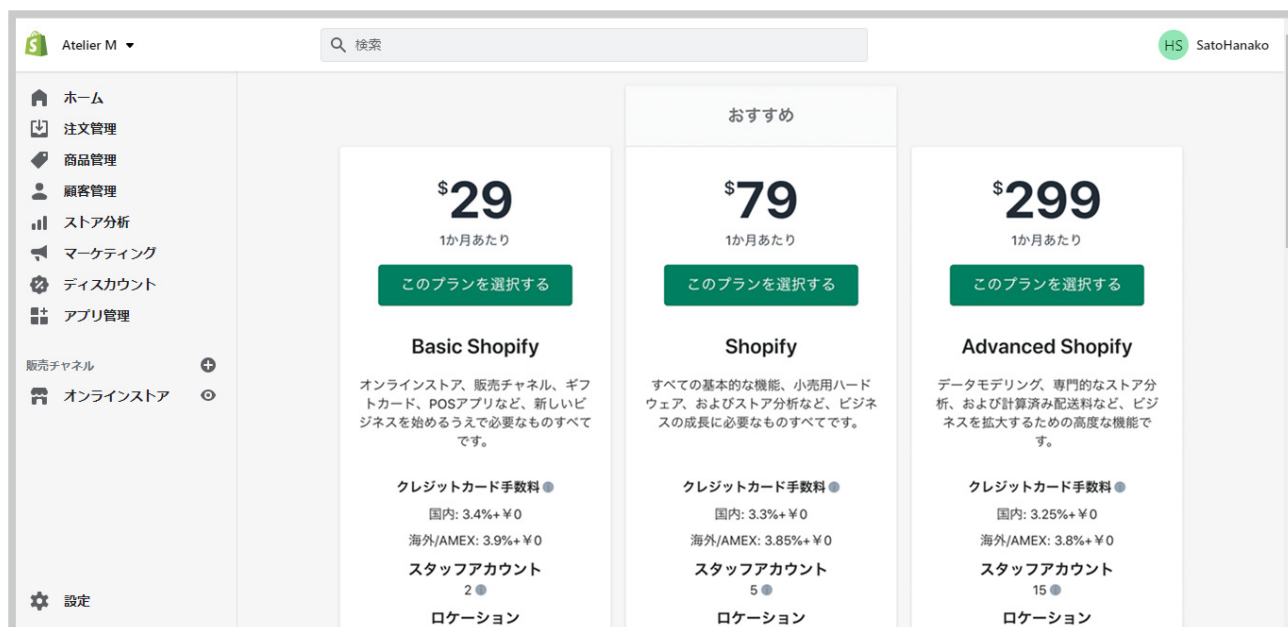
01

無料体験中は管理画面に“プランを選択”というボタンが表示されています。“プランを選択する”をクリックします。



02

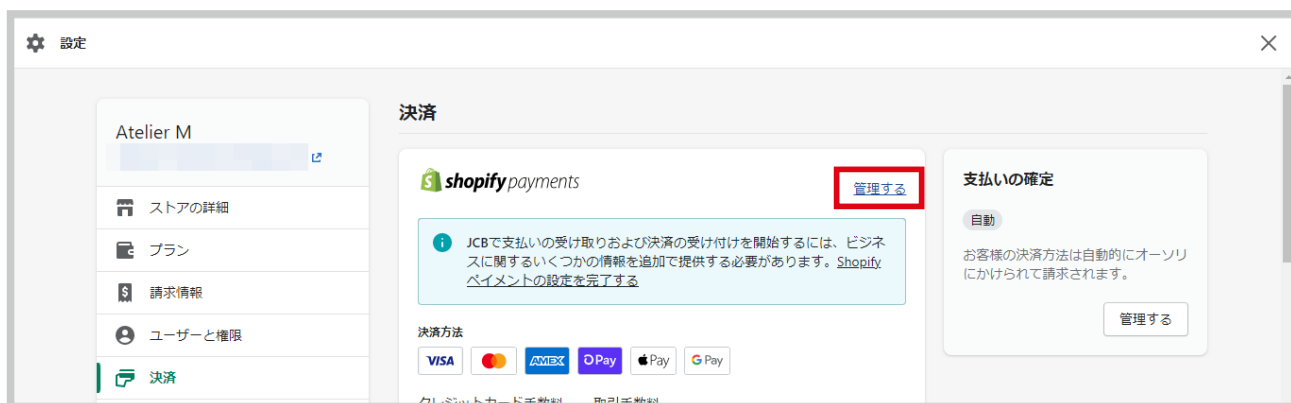
プランを選択し、ご自身の請求情報を入力して、“プランを開始する”をクリックします(14日間の無料体験期間中は月額利用料は請求されません。プランを契約後でも期間中に解約することで、請求を回避することができます)。これでいつでもShopifyで商品を販売することができます!



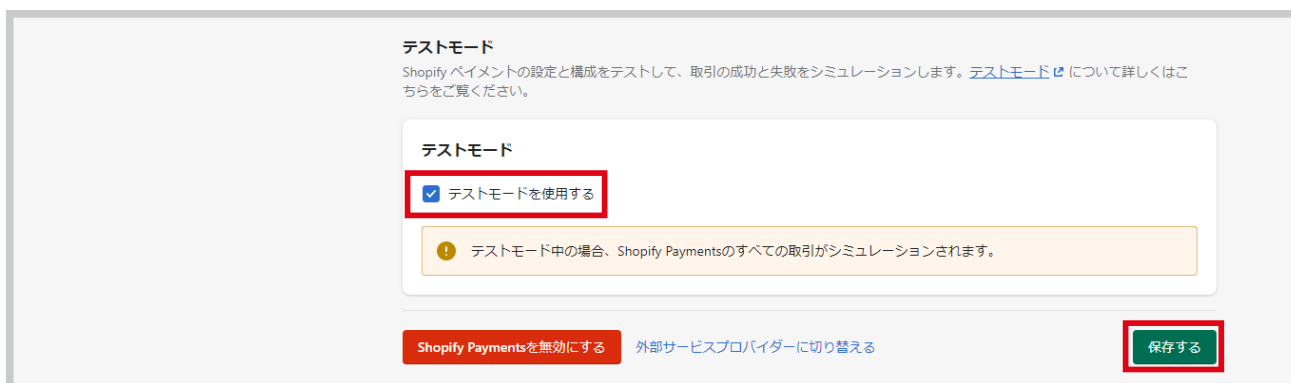
## テスト注文を行う

ここでは、作成したストアでテスト注文を行います。Shopify ペイメントのテストモードを使用して、決済のテストを実施してみましょう。

- 01 決済から Shopify ペイメントの横の“管理する”を選択します。



- 02 ページ下部の“テストモードを使用する”にチェックを入れ、“保存する”をクリックします。



- 03 その後、オンラインストアで実際に購入手続きを行って、商品を注文します。支払いでは「カード番号」に“4242424242424242”などの数字（カード会社によって異なります。詳しくはヘルプセンターをご覧ください）、「カードの名義人」に単語を2つ、有効期限には未来の年月、セキュリティコードには3桁の数字を入力します。その後、購入をすると、テスト注文が完了となります。



詳しくはヘルプセンターをご覧ください。 <https://help.shopify.com/ja/manual/payments/shopify-payments/testing-shopify-payments>

# 注文処理を行う

実際にストアをオープンする前に確認しておきたいことのひとつに注文処理があります。ここでは先ほど行ったテスト注文で注文処理の方法を確認します。

- 01 管理画面から“注文管理”をクリックし、該当する注文をクリックします。



- 02 こちらが注文の詳細画面です。注文がすでに「支払い済」となっているのは、35 ページの「決済の受付方法」で「自動」を選択したので、注文をしたタイミングで決済が確定されるからです。発送の準備が整ったら“アイテムをフルフィルメント”をクリックします。



03

発送する商品を選択して、「追跡番号」と「配送業者」を選択し、“アイテムをフルフィルメントする”をクリックしてください。この際に、“配送状況の詳細をお客様に送信する”のチェックボックスにチェックを入れると、お客様に発送を知らせるメールが届きます。これで発送処理は完了です。

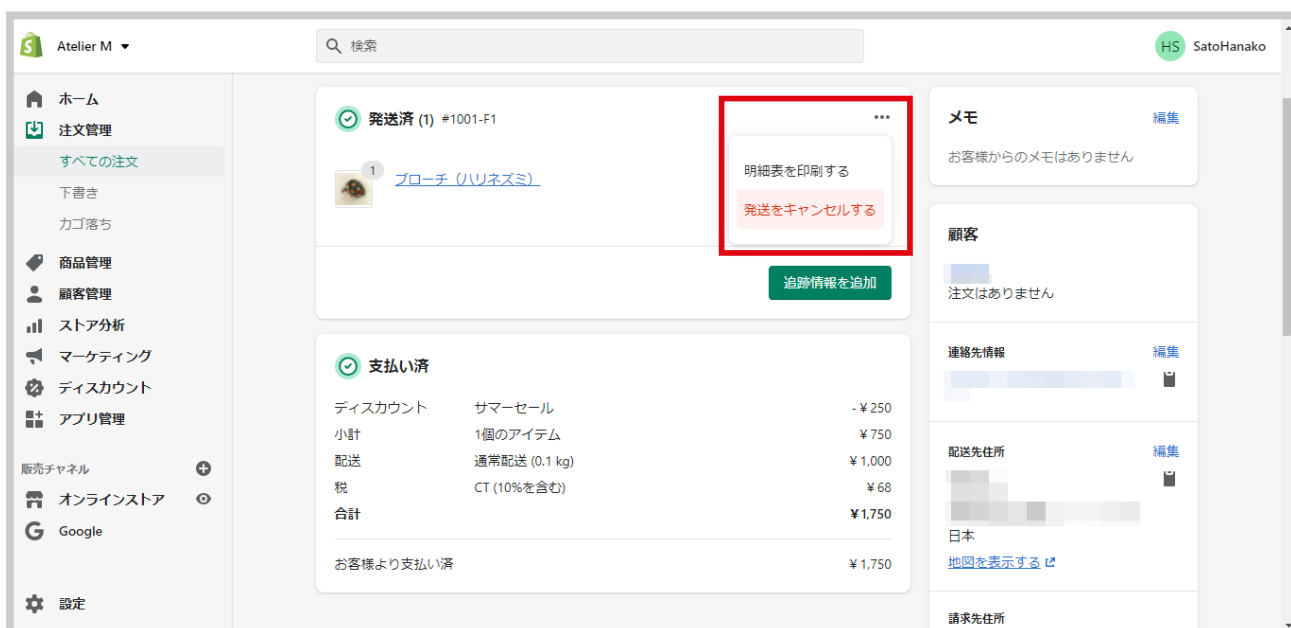


## 配送情報を変更する

配送情報を誤って登録したときや、発送をキャンセルすることができます。

01

注文の詳細画面から“...”をクリックして、“発送をキャンセルする”をクリックしてください。ステータスが未発送に戻るので、配送情報を追加して発送処理を行ってください。





# 注文を返金する

お客様からの注文に対して返金したい場合は、返金作業を行います。

- 01 該当する注文ページに行き、“返金”をクリックします。

The screenshot shows the Shopify admin interface for a store named 'Atelier M'. The user is logged in as 'SatoHanako'. The main content area displays order details for order #1001, which is marked as 'Paid' (支払い済) and 'Shipped' (発送済み). A red box highlights the 'Return' (返金) button in the top right corner of the order details. Below the order details, there is a table showing the order items and a summary of the order. The order items table shows one item: 'ブローチ (ハリネズミ)' with a quantity of 1 and a price of ¥1,000. The summary table shows the following items:

項目	金額
アイテムの合計	¥1,000
税 (税込)	¥68
返金の合計	¥750

- 02 返金する商品の数量を選び、“返金する”をクリックして返金します。返金後に在庫数を補充することも可能です。「お客様に通知を送信する」にチェックを入れると、返金後にお客様に通知メールが送られます。

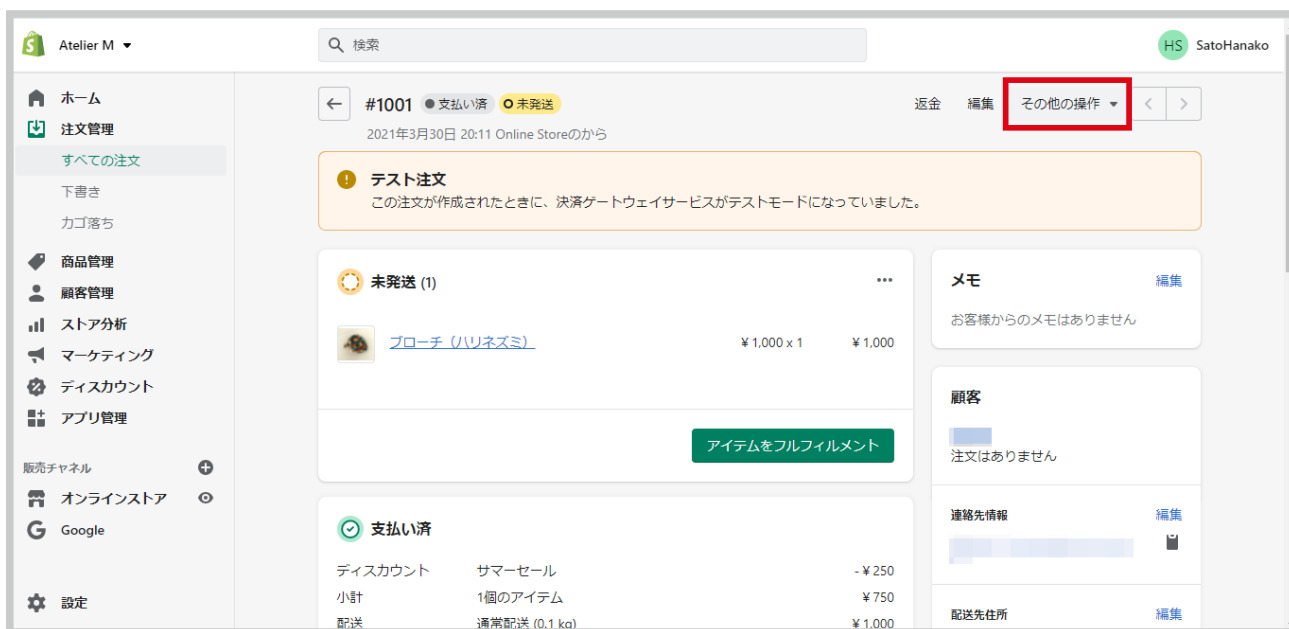
The screenshot shows the Shopify admin interface for the 'Return' process. The user is logged in as 'SatoHanako'. The main content area displays the 'Return' form for order #1001. The form includes a table for the order items, a section for 'Shipping and Return' (配送料を返金する), and a 'Return Reason' (返金の理由) section. The 'Return' button is highlighted in red. The 'Return' form includes the following fields:

- Quantity: 1 / 1
- Price: ¥750
- Shipping fee: 通常配送 (¥1,000)
- Return amount: ¥0
- Return reason: (empty field)
- Checkboxes:  アイテムを補充する,  お客様に通知を送信する
- Return amount summary: ¥750を返金する (highlighted in red)

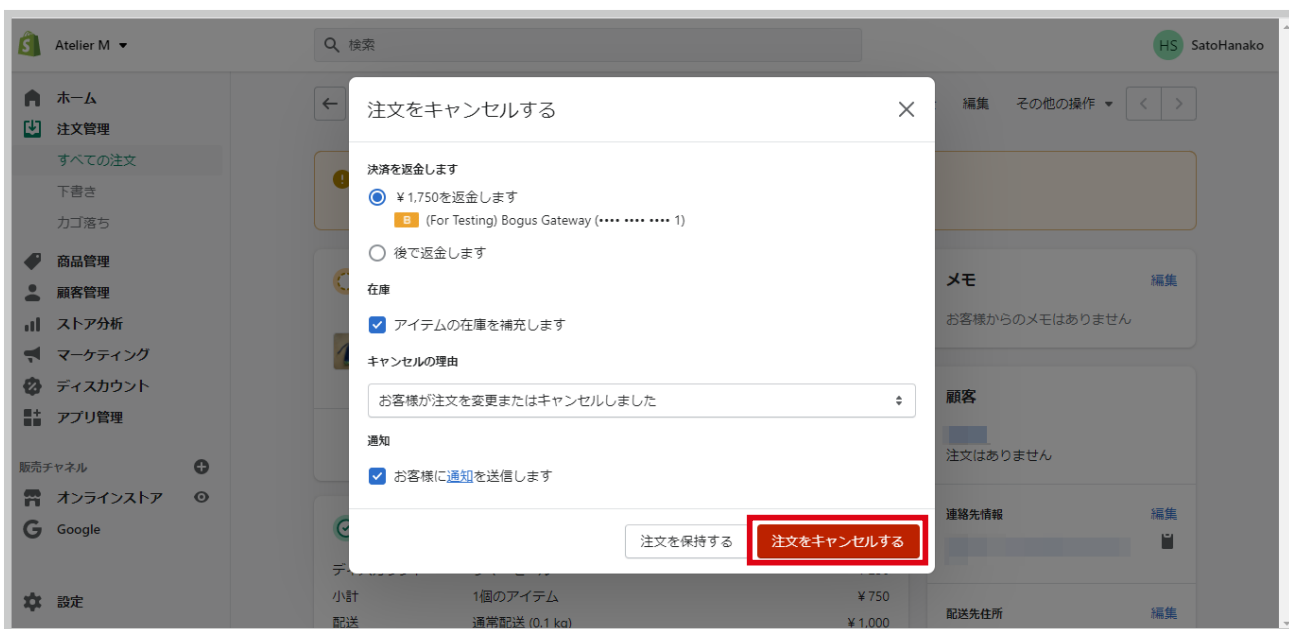
# 注文をキャンセルする

商品を発送する前にお客様からの注文を取り消したい場合は、注文自体をキャンセルします。なお、キャンセル操作の取り消しはできませんので、ご注意ください。

- 01 発送する前の該当する注文ページに行き、“その他の操作”から“注文をキャンセルする”を選択します。



- 02 注文のキャンセル内容を確認し、“注文をキャンセルする”をクリックして、お客様に返金します。



# パスワードページを削除する

Shopify で開設したストアでは、準備中の様子が他の人に見られないようにパスワードがかかっています。ストアを実際にオープンする前には、ストアのパスワードを外して、全世界に公開します。なお、パスワードページの内容を編集したいときには、“オンラインストア”から“カスタマイズ”を選択いただき、ページ上部のドロップダウンメニューから“パスワードページ”を選択してください。

01 “オンラインストア”から“各種設定”を選択します。



02 「パスワード保護」から“パスワードを有効にする”のチェックボックスを外し、“保存する”をクリックして、パスワードを解除します。



# 5

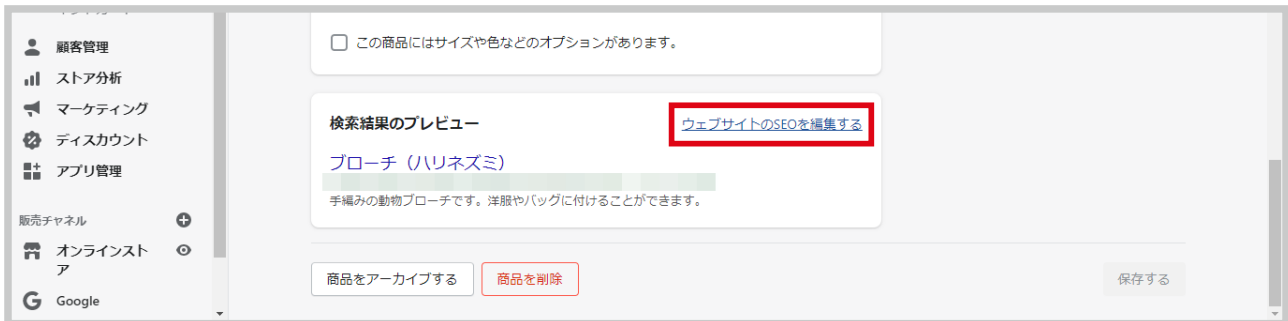
## 応用編

この章では、Shopifyストアに関する  
応用的な使い方を紹介します。

# ストアの SEO対策について

Shopifyで作ったネットショップでは、基本的な SEO 対策も設定することができます。ここでは、商品ページでできる SEO 対策を紹介します。

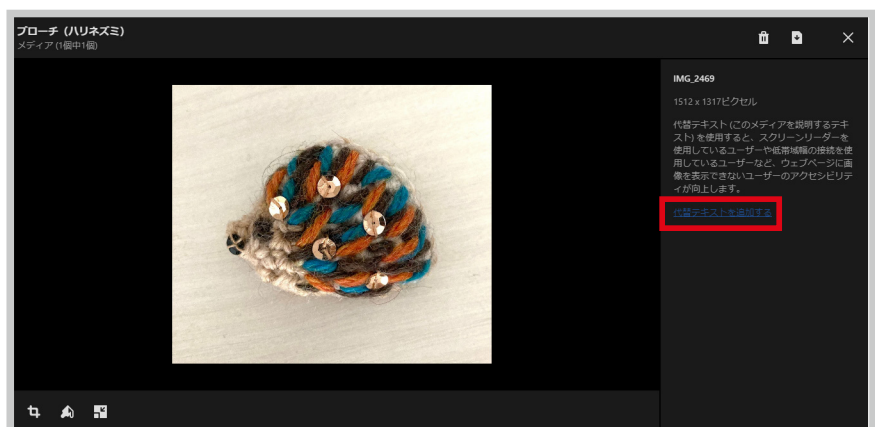
- 01 商品編集ページから“ウェブサイトの SEO を編集する”をクリックします。



- 02 こちらから、商品の「タイトルタグ」、「メタディスクリプション」、「URL」を自由に編集することができます。



- 03 また商品画像をクリックすると、画像編集ツールにアクセスできます。“代替テキストを編集”を選択すると、画像の代替テキスト (alt 属性) を編集することができます。



## 販売チャンネル(販路)について

Shopify ではオンラインストア以外にも、Facebook や Instagram、楽天市場や実店舗 (POS) などからお客様に商品を販売することができます。このときには販売チャンネル機能を使って設定します。

- 01 管理画面から「販売チャンネル」の“+”をクリックします。



- 02 ストアに追加したい販売チャンネルを選択します。



- 03 各チャンネルに応じた設定を行って、販売チャンネルの連携を完了させます。

# ディスカウント を作成する

お客様に限定クーポンや、送料無料のコードなどを発行したいときにはディスカウント機能を使います。Shopifyでは、指定した価格の割引コード、パーセントでの割引、送料無料のコードなどを作成することができます。

01

管理画面から“ディスカウント”をクリックして、“クーポンコードを作成する”を選択します。



02

「クーポンコード」欄に使用するコードを入力して、「タイプ」からどのようなディスカウントを使用するかを決めて、「ディスカウント価格」に数値を入力します。「適用対象」では、クーポンコードを使用可能な商品の範囲を選択できます。



03

「最小要件」では、購入額や数量の下限がある場合に選択します。「お客様の資格」では、一定の顧客範囲にディスカウントを限定したい場合に選択します。「利用制限」では、コードの使用回数制限を設定でき、「有効日」ではコードの開始日や終了日を設定します。完成したら“保存”をクリックします。

また、Buy One Get One Free (1 つ購入で1つ無料でゲット) といったクーポンも作成することができます。クーポンコードの「タイプ」から「Xを購入してYをゲット」を選択し、お客様が購入する商品と、割引が適用される商品を設定して、“保存”を押します。



# ストアにSNSの共有ボタン、アイコンを追加・編集する

ネットショップに SNS や YouTube などのリンク付きアイコンを追加します。また、SNS の共有ボタンを追加・削除します。

01

管理画面の“オンラインストア”から“カスタマイズ”を選択して、“テーマ設定”をクリックします。



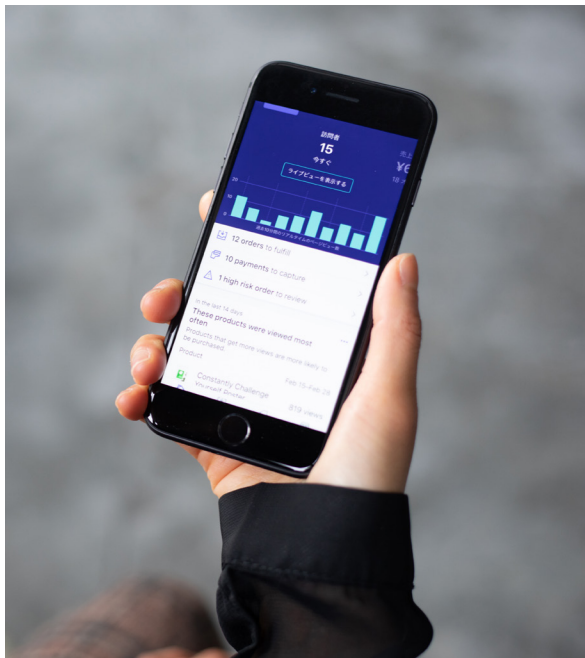
02

“SNS”を選択します。「シェアする」では、商品ページでの Facebook、Twitter、Pinterest への共有ボタンを編集できます（初期設定ではすべてオン）。「アカウント」では、ストアですすでにお持ちの SNS などのアカウントを追加すると、ホームページ下部にリンク付きのアイコンが表示されます（テーマによっては編集できません）。



# モバイルアプリについて

Shopify では iOS と Android で使える「Shopify 公式アプリ」があります。パソコンがなくても、発送処理からストアのカスタマイズまで、基本的な機能はすべて使うことができます。いつでもどこからでもビジネスを動かしましょう。



## ダウンロードはこちら

まだお使いでない方は以下の  
QR コードからダウンロードしてください！



iOS を  
ご利用中の方はこちら



Android を  
ご利用中の方はこちら

# POSについて

実店舗をお持ちの方は、Shopify POS をご利用いただくことで、実店舗の在庫や売上データ、顧客データなどをオンラインストアとリアルタイムで同期させることができます。POS を活用してスムーズの店舗運営を実現しましょう。



## ダウンロードはこちら

まだお使いでない方は以下の  
QR コードからダウンロードしてください！



iOS を  
ご利用中の方はこちら



Play Store を  
ご利用中の方はこちら

# FAQ

ここでは Shopify に関するよくある質問を紹介します。

## 01 お支払い関連 / Payment

### ■ Shopify ペイメント支払いサイクル

**Q.** Shopify ペイメントの売上の支払いはいつ行われますか？

**A.** お支払いタイミングはご自身で設定可能です（週次／月次）。

### ■ 銀行所在地、支払い通貨

**Q.** Shopify ペイメント利用の際、国外の銀行口座への入金が可能ですか？

**A.** Shopify ペイメントの入金口座は、Shopify で登録された **ストアの住所と同一国にある銀行の口座**にその国の通貨でお支払いされます。

例えばストアの所在国が日本の場合、アメリカにある銀行口座を登録することはできません。またお支払い通貨は日本円のみとなります。

### ■ Shopify ペイメント手数料

**Q.** Shopify ペイメントを利用した際の各手数料はいくらですか？

**A.** 決済手数料はご利用の月額プランにより異なります。詳細は **4 ページ**でご確認ください。

### ■ 販売通貨と売上入金

**Q.** ストアでの販売通貨は米ドルですが、日本のストアなので売上の入金は日本円で受け取ります。手数料などは発生しますか？

**A.** 為替手数料として **2.0%** が発生します。

### ■ Shopify ペイメント売上保留

**Q.** Shopify ペイメントの入金が保留されています。どうすれば良いでしょうか。

**A.** お手数ですがストアのアカウントオーナーとして登録されているメールアドレスから、**Shopify のサポートチーム**までご連絡ください。

## 02 設定方法 / Setup

### ■ 商品ごとの送料設定

Q. 商品ごとに異なる送料設定はできますか？

A. 39 ページの商品別送料を使用することで商品ごとの送料が設定可能です。

### ■ 配送先・請求先住所

Q. チェックアウト時に配送先住所と請求先住所を別々に記入することはできますか？

A. 可能です。管理画面より“設定” > “チェックアウト” > “デフォルトでは、配送先住所を請求先住所として使用する”を無効化することで配送先住所と請求先住所を別々に記入されるように設定ができます。

### ■ 通知メール設定

Q. 自動配信メールなどの通知のテキスト編集はできますか？

A. “設定” > “通知”で各通知メールのテンプレートの確認および編集が可能です。

### ■ カゴ落ちメール

Q. カゴ落ちしてしまったオーダーへの対策はできますか。

A. “設定” > “チェックアウト”の“カゴ落ち”でカゴ落ち対策のメール送信を有効化してください。メール本文は“通知”の“カゴ落ち”で編集が可能です。

## 03 その他 / Other

### ■ テーマカスタマイズのリクエスト

Q. テーマの詳細カスタマイズを行って頂きたいのですが、可能ですか？

A. Shopify が作成した無料テーマであり、小規模のリクエストであればテーマサポートまでリクエストをすることが可能です。なお、デザインタイム（リクエストできる合計の時間）は60分です。60分のデザインタイムを使い切った場合、または大規模・高度のカスタマイズの場合は弊社パートナーまでご相談ください。

Shopify 外で作成されたテーマをご利用でしたら、テーマ開発元までお問い合わせください。

### ■ Shopify の最新情報

Q. Shopify の最新情報はどこで手に入れることができますか？

A. Shopify 公式ブログまたは Shopify の SNS アカウント (Facebook、Twitter、Pinterest) をご確認ください。



